

令和元年度 一関保健所事業の実施状況

管理福祉課

1 保健所運営

○ 保健所運営協議会（令和元年 8 月 8 日）

保健所の所管区域内の地域保健及び保健所に運営に関する事項を審議する。

設置根拠：地域保健法第 11 条、保健所運営協議会条例

委員：19 名（任期 令和元年度～令和 2 年度）

2 病院等医療監視等

○ 病院等立入調査

医療法等関係法令に基づき、病院は毎年、病院以外は総数の 1/5 程度の施設に立入調査を実施。

ア 病院：10 病院（10 病院）

①岩手病院、②県立南光病院、③県立磐井病院、④一関病院、⑤昭和病院、⑥西城病院、
⑦県立大東病院、⑧ひがしやま病院、⑨一関市国民健康保険藤沢病院、⑩県立千厩病院

イ 診療所：138 施設（29 施設）

ウ 助産所：1 施設（0 施設）

エ 施術所：57 施設（9 施設）

オ 歯科技工所：25 施設（5 施設）

3 地域医療の推進

(1) 救急医療・災害医療

ア 二次救急病院群輪番体制連絡会（令和 2 年 1 月 23 日）

両磐地域における休日及び夜間における救急医療体制を確保する。

構成機関 (12 機関)	一関市医師会、一関保健センター、一関市消防本部、 参加 8 病院（岩手、磐井、一関、昭和、西城、ひがしやま、藤沢、千厩） 事務局（一関保健所）
主な議題	・両磐地域二次救急病院群輪番制当番割一覧表について ・救急搬送状況について

イ 両磐地域災害医療対策連絡会議（令和元年 11 月 22 日）

災害時における医療体制のあり方等について関係機関で協議、情報共有を行う。

構成機関 (8 機関)	災害医療コーディネーター、一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、 災害拠点病院（磐井）、一関市消防本部、一関市、平泉町 事務局（一関保健所）
主な議題	・平成 30 年度両磐地域災害医療訓練実施アンケート結果について ・令和元年度両磐地域災害医療訓練実施要綱（案）について

ウ 両磐医療圏の災害医療コーディネーター

災害医療コーディネーターは、地震等の自然災害や大規模な事故が発生した場合に、被災地に必要とされる医療が迅速かつ的確に提供するための調整役として、医療救護活動を統括する立場にある医師の中から知事が委嘱する。

(令和2年8月4日現在)

所 属	職・氏名	委嘱期間
県立磐井病院(災害拠点病院)	院長 佐藤 耕一郎	令和元年8月1日～ 令和3年7月31日
県立磐井病院	副院長 齋藤 桂一	
一関市国民健康保険藤沢病院	外科長 椎名 良直	
県立千厩病院	副院長 塩井 義裕	
一関市医師会	副会長 佐藤 隆次	

エ 両磐地域災害医療訓練 (令和元年12月3日)

災害発生初動時を想定し、管内の医療情報を迅速に収集して関係機関と共有することにより、災害時対応への課題を確認する。

- ・参加機関：17 機関（一関市医師会、一関歯科医師会、一関薬剤師会、病院、消防、行政）
- ・訓練内容：
 - ① 河川が氾濫して病院が床上浸水し、入院患者を搬送する可能性があることを想定。
 - ② 一関保健所に災害対策本部を設置し、広域災害救急医療情報システム（EMIS）により管内医療機関の情報を収集。
 - ③ 情報を衛星携帯電話等で災害医療コーディネーターや関係機関に伝達して調整を実施。

(2) 地域医療

ア 両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会 (令和元年9月24日)

当医療圏における地域医療をめぐる課題を共有しながら、課題の解決に向けたそれぞれの取組みなどについて意見交換及び検証を行う。

- ・参加機関：32 機関（地域住民代表、医療関係団体、公的医療機関、社会福祉・介護関係団体等）
- ・主な議題：具体的対応方針の検証の具体的な手順等について
岩手県保健医療計画の両磐圏域における取組状況について

イ 地域医療構想部会 (令和2年2月28日)

当医療圏の地域医療構想の実現に向けた取組について協議を行う。

- ・参加機関：20 機関（医療関係団体、民間病院、公的医療機関、診療所等）
- ・主な議題：「診療実績が特に少ない」及び「類似かつ近接」と分析された公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について

ウ 医療職進路選択セミナー

両磐地域における将来の医療従事者（医師、看護師、薬剤師、各検査技師、リハビリ職、歯科衛生士、医療事務等）の育成を図るため、管内の中高生が医療職の仕事に興味を持ち、志す動機付けを支援する。

高校生対象	県立磐井病院 (8/2)、45 名参加 県立千厩病院 (8/1)、19 名参加	・医療従事者のプレゼンテーション ・医療従事者とのフリートーク
中学生対象	県立磐井病院 (12/7) 附属中 77 名参加 一関病院 (12/27) 市内中学生 14 名参加	・奨学金等助成制度の情報提供 ・病院見学

エ 健康づくり出前講座

地域住民等を対象に、生活習慣病の予防や医療機関の適正受診等の普及啓発を行うため、地区公民館や職場に保健所職員が赴き、講座（講演）を開催する。（管理福祉課担当）

- ・市民健康講座「アレルギーを正しく知ろう」で講演後に適正受診について周知を行った。

- オ 小児救急医療セミナー（令和元年11月9日 一関市川崎防災センター 12名参加）
乳幼児等の保護者の方等を対象に、子どもの急な体調不良時の対処法等の普及啓発を行う。
・講演「こんな時どうする？子どもの病院のかかり方」（講師 県立磐井病院 丸山小児科長）
- カ 両磐地域医療安全対策研修会（令和2年2月8日 一関文化センター 239名参加）
医療機関における医療安全意識の高揚と医療事故防止等に向けた積極的な取組を促し、地域における医療安全対策の一層の推進を図る。
・講演「感染症の発生動向と危機管理」
（講師 国立感染症研究所感染症疫学センター第二室 室長 砂川 富正 氏）
- キ 医療相談
医療に関する相談窓口を設置して苦情や心配ごと相談に対応する。
・相談：電話14件、メール1件、来所7件（内容：苦情12件、相談10件）
- ク 宮城県・岩手県保健所県際合同連絡会議（令和元年11月16日 栗原保健所）
県際5保健所（栗原保健所、登米保健所、気仙沼保健所、大船渡保健所、一関保健所）が広域的な対応が必要な事項等について情報交換等を行って連携強化を図る。
・主な議題：麻しん対応にかかるマニュアルの整備状況、改正健康増進法施行による受動喫煙対策、糖尿病性腎症重症化予防事業における保健所の支援体制など

4 地域福祉の推進（保健所業務と関連する一関保健福祉環境センターの主な取組）

（1）障がい者福祉

ア 一関地区障害者地域自立支援協議会

障がい者の自立を支援するため、協議会や部会等に参画して、障がい者の住いや日中活動の場の確保や工賃等収入の向上等を図る。

- ・協議会 2回、くらし部会 3回、こども部会 6回、しごと部会 2回、各WG

イ ろうあ者・盲ろう者相談員による相談指導

ろうあ者・盲ろう者相談員（非常勤職員）を2名配置して、ろうあ者の相談対応、同行支援、大会イベント等での手話通訳、手話法の普及指導を行っている。

ウ 障がい者理解出前授業

聴覚障がい者や手話通訳者が学校を訪問し、手話などを通じて小学生と交流することにより、障がい者の理解を深めるとともに、福祉への関心を持ってもらう。

- ・管内9小学校で延べ11回開催（R1.7～11月）、主に小学4年生を中心に252名受講

（2）地域福祉

ア 一関市・平泉町民生児童委員研修会（令和2年2月19日 一関文化センター 387名参加）

地域福祉の推進の担い手としての民生委員・児童委員の役割についての理解を深め、その活動意欲の醸成を図る。

- ・講演①「児童虐待の現状と対応について」（岩手県一関児童相談所 所長 山岸 公美）
②「地域包括ケアについて」（一関西部地域包括支援センター 主任主事 千田 修）

③「私の民生委員・児童委員活動について」（一関市民生委員・児童委員 佐々木裕子）

イ ひとにやさしい駐車場利用制度の普及

歩行が困難な方で岩手県が定めた要件を満たしている方を対象に、公共的施設の車いす利用者用駐車区画の利用対象者を明らかにするための「ひとにやさしい駐車場利用証」を交付した。

- ・令和元年度新規交付数 109 件

ウ ユニバーサルデザイン（UD）調査（平成 31 年 4 月 22 日 花泉図書館）

両磐地域まちづくり探検隊（両磐地域の障がい者団体の代表等で組織）として、管内の公共的施設が障がいを持つ人などにとって使いやすい環境となっているかを点検し、改善すべき点を確認した。

- ・点検項目 駐車場の車いす専用スペースやトイレの利便性、玄関の広さ、点字ブロック等

（3）母子・父子・寡婦福祉、児童福祉

ア 母子父子自立支援員による相談指導、資金貸付

母子家庭等の経済的自立と生活意欲を助長するため、母子父子自立支援員が様々な相談に対応するとともに、母子・父子・寡婦福祉資金の貸付を行った。

- ・令和元年度新規貸付 29 件、継続貸付 27 件

イ オレンジリボン街頭キャンペーン

児童虐待防止月間に合わせ、大型スーパー等で子どもの虐待防止を広く呼びかけた。

- ・11 月 管内 3 か所

（4）配偶者等暴力防止対策（配偶者暴力相談支援センター）

ア 相談対応

配偶者等からの暴力（DV）被害者からの相談に対応するとともに、DV証明書の交付（被害者が裁判所に提出する保護命令申請に必要な書類）、離婚等手続きに関する相談支援を行った。

イ DV防止に向けた普及啓発

DV防止を図るため、関係機関の連携強化と普及啓発を行った。

- ・両磐地域配偶者暴力防止対策連絡会（令和元年 12 月 2 日 県内の関係機関で構成）
- ・配偶者暴力被害者自立支援研修会（令和元年 12 月 2 日 一関地区合同庁舎 31 名参加）

（5）福祉職の人材確保

○ 福祉職進路選択セミナー

福祉施設で働く多職種の若手職員が、それぞれの仕事に対する思いや魅力を高校生に直接対話形式で伝えるセミナーを開催して、高校生が進路の選択肢のひとつとして福祉職を意識してもらおうとするもの。

- ・開催日時：令和元年 8 月 7 日（水）13:30～16:30（一関保健センター）
- ・参加者：市内の高校 1～3 年生 15 名
- ・若手職員：看護師、介護福祉士、作業療法士、理学療法士、栄養士、保育士、児童福祉司、保健師、社会福祉士 計 16 名

令和2年度 重点取組事項

○ 医療職・福祉職の人材確保

1 医療職進路選択セミナーの開催

将来の医療従事者の育成を図るため、医師及び看護師等の医療関係職種に対する理解を深めてもらうことにより、医療関係職種を志す高校生及び中学生の動機付けを支援するセミナーを一関市、平泉町、一関市医師会、県立磐井病院及び県立千厩病院と共催して実施する。

(1) 内容

- ア 各職種の仕事内容の紹介
- イ 希望職種ごとに職員とのフリートーキング
- ウ 病院内施設見学
- エ 保護者向けに県や一関市で実施する就学資金貸付制度等を情報提供

(2) 対象

- ア 高校2年生 県立千厩病院（7/29 申込 28人）
- イ 中学生 市内病院（12月）、県立磐井病院（12/5 附属中2年生）

2 福祉職進路選択セミナー（Fukushi Café）の開催

地域における将来の福祉人材の確保に資することを目的として、若年層が福祉を担う職種を志す動機付けを図り、進路の選択肢の一つとして当該職への関心を高めるため、セミナーを一関市及び平泉町と共催して開催する。

(1) 内容

- ア 管内の福祉施設に従事する若手職員（看護師、介護福祉士、作業療法士、栄養士、保健師、障がい者施設従事者へのインタビュー及びブース形式での交流
- イ 行政説明

(2) 対象

- 高校生（8/12 申込 33人）

○ 医療安全対策

両磐地域医療安全対策研修会の開催

医療機関における新型コロナウイルス感染症対策への安全意識の高揚と医療事故等に向けた積極的な取組を促し、地域における医療安全対策の一層の推進を図る。

- ・講演「(仮) 新型コロナウイルス感染症の動向と感染症対策」

講師 一関保健所長 仲本 光一（10/9 一関文化センター）